

# 旧竜ヶ峰小学校跡地施設の誘致計画策定方針

## 1 策定の趣旨及び基本姿勢

本市では、これまでに少子高齢化による学校の閉校が6施設生じ、学校跡地の恒久的な用途や活用の考え方について市民と情報共有しながら、平成16年12月に「多摩市学校跡地施設の恒久活用方針（以下、恒久活用方針）」を策定した。その後4年余りが経過し、新たに閉校となる学校が生じていることから、今般、恒久活用方針を見直し公表したところである。

平成21年3月に閉校になった旧竜ヶ峰小学校については、この新たな恒久活用方針において、教育施設を売却等により誘致することとしている。

今後、教育施設を誘致するにあたっては、旧竜ヶ峰小学校が地域コミュニティの場であったこと、また、学校跡地が市民の貴重な財産であることを踏まえて、市が具体的な誘致計画（「旧竜ヶ峰小学校跡地誘致施設の誘致計画（以下、誘致計画）」）を定める必要がある。

本策定方針は、旧竜ヶ峰小学校の誘致計画を策定するにあたり、以下の視点に基づき、今後の具体的なプロセス等、必要な事項を定めるものである。

### ○ 地域との調和

誘致計画の策定にあたっては、地域環境との調和についての市民意見を求め、地域に歓迎される誘致を目指す。

### ○ 地域への貢献

学校跡地施設は大規模な土地と建物を有しており、活用にあたっては、「元気のあるまちづくり」に向けて、地域に貢献する有効な誘致を目指す。

## 2 誘致計画の策定期限

誘致計画は、平成22年3月を目途に策定する。

## 3 誘致計画の策定手順

誘致計画の策定は、以下の手順により進めるものとする。

### (1) 誘致計画策定方針の公表

策定のプロセスを市民と共有するため、誘致計画策定方針を定め、誘致計画の検討に先立ち、これを公表する（本方針がこれに該当）。

### (2) 説明会の開催及びパブリックコメントの実施

誘致計画策定方針を定めた後、誘致計画（案）を検討し、平成21年12月に公表する。引き続き説明会を開催し、あわせてパブリックコメントを実施し、誘致計画についての市民の意見を求める。

### (3) 庁内検討

説明会及びパブリックコメントで得られた意見等を踏まえ、誘致条件について検討を行う。

#### 4 情報共有の手法

誘致計画の策定にあたっては、以下の情報媒体を用いて、市民との情報共有を図るものとする。

- **たま広報**

パブリックコメントの実施等の情報の共有に用いる。

- **公式ホームページ**

誘致計画策定過程の公表資料について、随時、閲覧できるようにする。

#### 5 策定スケジュール（予定）

誘致計画策定方針（案）の決定（平成21年8月） ⇒ 誘致計画策定方針（案）のパブリックコメント（同年8月から9月まで） ⇒ 誘致計画策定方針の決定（同年9月） ⇒ 誘致計画（案）の公表（同年12月） ⇒ 誘致計画（案）の説明会・パブリックコメント（平成22年1月から2月まで） ⇒ 誘致計画の決定（同年3月）

資料

旧竜ヶ峰小学校跡地施設の誘致計画策定方針（案）のパブリックコメントに対する市の考え方  
 実施期間 平成21年8月24日～平成21年9月8日  
 意見提出者 2人（2件）

No.	寄せられた意見（要約）	市の考え方
1	旧竜ヶ峰小学校跡地施設を隣接する帝京大学に売却を希望する。また、帝京の病院を誘致してはどうか。近隣に病院は少なく、あると生活の利便性が高まる。	旧竜ヶ峰小学校跡地施設については、地域環境に大きな変化を招かない教育施設を売却等により誘致します。 なお、今後、教育施設を誘致するにあたっては、地域との調和、地域への貢献などの視点に基づき、誘致計画を策定していく予定です。
2	旧竜ヶ峰小学校跡地施設の売却が可能であれば、企業の誘致に供するのが、活気をもたらされ就労増となるので一番だが、この不況下では企業も二の足を踏むだろう。そうなる宅地として分譲するしかない。若年層の居住及び出生も望まれる。多摩市としては、若返る方策としても、また、市の出費抑止にもつながる。	